

# 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

公園工事(外構・造園工事他)

## 施 工 計 画 書

2024年6月

株式会社 石勝エクステリア

## 目 次

1.	工 事 概 要 .....	3
2.	現 場 案 内 図 .....	4
3.	工 事 内 容 .....	5
4.	計 画 工 程 表 .....	14
5.	現 場 組 織 図 .....	17
6.	施 工 体 系 図 .....	18
7.	安 全 管 理 .....	19
8.	主 要 機 械 .....	21
9.	主 要 材 料 .....	22
10.	施 工 方 法 .....	27
11.	施 工 管 理 計 画 .....	42
12.	緊 急 時 の 連 絡 体 制 .....	43
13.	交 通 管 理 .....	44
14.	環 境 対 策 .....	45

## 1. 工事概要

- 1 工事件名 : 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業  
【特定公園施設】
- 2 工事場所 : 神奈川県平塚市龍城ヶ丘45番1先
- 3 工期 : 2024年 7月 1日 から  
2025年 9月 15日 まで (予定)
- 4 公園管理者 : 平塚市  
都市整備部みどり公園・水辺課
- 5 請負者 : 株式会社 石勝エクステリア  
現場代理人 XXXXXXXXXX  
Tel 045-912-7569
- 6 準拠図書 : 施工に当たっては次の設計図・仕様書に準ずるものとする。
  - 1) 見積要項書
  - 2) 設計図
  - 3) 神奈川県土木工事施工管理基準書 (R4年4月)
  - 4) 神奈川県土木工事共通仕様書 (R5年4月)
- 9 工事内容 :

I 基盤整備工	1.0 式
II 植栽工	1.0 式
III 施設整備工	1.0 式
1. 駐車場施設整備工	1.0 式
2. 園路広場整備工	1.0 式
3. サービス施設整備工	式
4. 管理施設整備工	1.0 式
5. 境界工	別途工事
6. 建築施設組立設置工	1.0 式

## 2. 現場案内図



申請地：平塚市龍城ヶ丘 45番1先

住 所 神奈川県平塚市龍城ヶ丘45番1先

### 3.工事内容

※以下の各規格は内外寸法、かつ流通上、規格準拠ができない場合がございます

名 称	仕 様	単 位	数 量
I 基盤整備			
1敷地造成工	客土A:t100(芝生)		
植栽客土	客土B:t200(高中木・低木・地被)	m3	878.60
II 植栽	H C W		
オリーブ3.5	3.5 1.5	本	1.00
オリーブ2.5	2.5	本	1.00
シロダモ株立	2.5 1.0	本	2.00
タブノキ株立4.0	4.0 1.8	本	1.00
タブノキ株立3.0	3.0 1.2	本	1.00
タブノキ	3.0 1.2	本	19.00
ヒメユズリハ	3.0 1.2	本	2.00
ホルトノキ	3.0 1.2	本	1.00
モチノキ	2.5 1.0	本	2.00
ヤマモモ	3.0 1.2	本	1.00
ウバメガシ	2.0 0.6	本	14.00
ハマビワ	1.5 0.6	本	4.00
フィリアオキ	1.0	本	1.00
フィリトベラ	1.0	本	1.00
オオシマザクラ(ウミネコザクラ)	3.0 1.5	本	15.00
シマザルスベリ株立	3.0 1.5	本	3.00
ネムノキ	3.0 1.5	本	5.00
アキグミ	1.5 0.6	本	15.00
ムクゲ白花笠	2.0 0.6	本	20.00
イボタノキ	1.0	本	2.00
クロマツ林	2.0 (1151.34m2)	本	576.00
常緑広葉樹林ウバメガシ	2.5 (357.58m2)	本	36.00
常緑広葉樹林クロマツ	2.5 (357.58m2)	本	36.00

名 称	仕 様			単 位	数 量
	H	C	W		
Ⅱ 植栽					
常緑広葉樹林タブノキ	2.5		(357.58m2)	本	36.00
常緑広葉樹林ヒメユズリハ	2.5		(357.58m2)	本	36.00
常緑広葉樹林モチノキ	2.5		(357.58m2)	本	36.00
イヌマキ生垣	2.5		(51.05m)	本	153.00
2低木地被植栽工	低木混植A				
アオキ	0.5		0.3	株	503.00
アセビ	0.5		0.3	株	503.00
トベラ	0.5		0.4	株	754.00
シャリンバ	0.5		0.3	株	754.00
アオキ	0.5		0.3	株	1,005.00
アセビ	0.5		0.3	株	1,005.00
トベラ	0.5		0.4	株	1,507.00
シャリンバイ	0.5		0.3	株	1,507.00
ハマヒサカキ	0.5		0.4	株	2,458.00
ハイネズ・ブルーパシフィック	pot			pot	437.00
キチジョウソウ	pot			pot	1,328.00
ツワブキ	pot			pot	1,328.00
アガパンサス	pot			pot	1,328.00
ハマギク	pot			pot	1,328.00
コウライシバ				m2	2,259.35
マルバシャリンバイ	0.3		0.3	株	157.00
ハマナス	pot			pot	157.00
ハマニガナ	pot			pot	560.00
コウボウシバ	pot			pot	560.00
コウボウムギ	pot			pot	560.00
テリハノイバラ	pot			pot	358.00
ハマギク	pot			pot	358.00
ハマゴウ	pot			pot	560.00
ハマヒルガオ	pot			pot	560.00

名 称	仕 様			単 位	数 量
	H	C	W		
Ⅱ 植栽					
ハマボウフウ	pot			pot	560.00
3樹木養生工					
竹箆垣(たけすがき)-1	H1000			m	97.52
竹箆垣(たけすがき)-2	H1500			m	83.48
4樹名板工	アボック社角中FN-15型、樹脂ポール1号L800同等品				
樹名板-1	でか字、QRコード、ポール式			個	13.00
	アボック社角中FN-15型、スプリング1本付け同等品				
樹名板-2	でか字、QRコード、スプリング式			個	13.00
Ⅲ 施設整備					
1駐車場施設整備工	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
東側駐車場ゲート(基礎)	L6450*W900*H400			基	1.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
EV用充電器(基礎)	□500*H400			基	1.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
P看板-1(基礎)	□800*H800			基	1.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
P看板-2(基礎)	□500*H1000*2			基	1.00
	CON躯体(基礎)				
料金看板(基礎)	□500*H1000*2			基	1.00
	CON躯体(基礎)				
アドボードサイン(基礎)	□250*H500*2			基	2.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
事前精算機(基礎)	W700*D550*H400			基	1.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
車室管理端末(基礎)	□300*H300			基	12.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
場内管理用カメラ(ポールの基礎)	□300*H300			基	2.00
	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外				
分電盤(基礎)	W600*D350*H400			基	1.00

名 称	仕 様	単 位	数 量
P看板-3(基礎)	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外 □450/□550*H1000	基	1.00
料金看板(基礎)	CON躯体(基礎) □500*H1000*2 ※東側と同仕様	基	1.00
アドボードサイン(基礎)	CON躯体(基礎) □250*H500*2 ※東側と同仕様	基	1.00
思いやり車室サイン(基礎)	CON躯体(基礎)、配管・コア抜き見積外 W700*D550*H400	基	1.00
2園路広場整備工 アスファルト舗装-1	密粒度アスコン、車輛対応 RC40(t150)+密粒AS(t50)	m2	621.87
アスファルト舗装-2	改良アスファルトⅡ型混合物、管理車輛対応 フィルター層砂(t100)+RC40(t150)+改質AsⅡ(t50)	m2	2,254.65
カラーアスファルト舗装-1	開粒度アスコン、常温塗布式自然土舗装同等、歩行者対応 フィルター層砂(t50)+RC40(t100)+開粒AS(t30)+自然土舗装	m2	769.58
カラーアスファルト舗装-2	密粒度アスコン、アクリル樹脂系塗装、車輛対応 RC40(t100)+密粒AS(t30)+塗装(t3)	m2	714.00
インターロッキング舗装-1	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、管理輛対応 透水シート+砂(t100)+RC-40(t150)+砂(t20)+ILB(t80)	m2	600.74
インターロッキング舗装-2A	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、歩行者対応 透水シート+砂(t100)+RC-40(t100)+砂(t20)+ILB(t60)	m2	469.90
インターロッキング舗装-2B	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、歩行者対応 透水シート+砂(t100)+RC-40(t100)+砂(t20)+ILB(t60)	m2	1,861.49
コンクリート舗装	金鋲仕上げ、歩行者対応 RC40(t100)+CON(t70)、伸縮目地@4000	m2	305.66
砂利舗装	透水シート(不織布) 単粒度碎石4号(φ20~30)t50	m2	19.07
誘導ブロック	視覚障害者誘導ブロック(透水性)、黄色、□300*t60、歩行者 透水シート+砂(t100)+RC-40(t100)+砂(t20)+ブロック(t60)	m2	29.22
誘導シート	視覚障害者誘導シート、黄色、□300 透水シート、接着(ブチル系粘着剤)	m2	0.81



名 称	仕 様	単 位	数 量
誘導鉄(びょう)	ステンレス製点字鉄、□300(5*5=25本)	m2	2.70
歩車道境界縁石-1	コンクリート縁石150/170*200*600(片側タイプ)、車輛対応 RC40(t100)+CON(t120)+モルタル(t15)+歩車道境界ブロック	m	377.09
歩車道境界縁石-1(端)	コンクリート縁石150/170*200*600(片側タイプ)、車輛対応 RC40(t100)+CON(t120)+モルタル(t15)+端部用歩車道境界ブロック	箇所	1.00
歩車道境界縁石-2	コンクリート縁石150/190*200*600(両側タイプ)、歩行者対応 RC40(t100)+CON(t120)+モルタル(t15)+歩車道境界ブロック	m	62.27
歩車道境界縁石-2(端)	コンクリート縁石150/190*200*600(両側タイプ)、歩行者対応 RC40(t100)+CON(t120)+モルタル(t15)+端部用歩車道境界ブロック	箇所	9.00
切り下げ縁石	切下げ縁石163/170*70*600(片側タイプ)、車輛対応 RC40(t100)+CON(t120)+モルタル(t15)+切下げブロック	m	3.60
地先境界縁石-1A	コンクリート縁石□120*600面取*1(段差あり)、歩行者対応 RC40(t100)+モルタル(t30)+地先境界ブロック	m	543.52
地先境界縁石-1B	コンクリート縁石□120*600面取*2(段差あり)、歩行者対応 RC40(t100)+モルタル(t30)+地先境界ブロック、水抜きスリット	m	360.04
地先境界縁石-2	コンクリート縁石□120*600面取なし(段差なし)、歩行者対応 RC40(t100)+モルタル(t30)+地先境界ブロック	m	73.73
ランドスケープエッジ	H85、PVC製 住友林業ロッキンエッジ同等	m	555.82
タイヤ止め	コンクリート製、2個/組、アンカー止め 小倉セメント製品工業:カーストッパー(CS-1)同等	組	85.00
白線引き-1	W150 白、実線	m	780.91
白線引き-2	W150 白、ゼブラ	m	68.98
白線引き-3	W450 白、実線	m	15.90
白線引き-4	W450 白、ゼブラ	m	19.81

名 称	仕 様	単 位	数 量
白線引き-5	文字、矢印、記号、W150換算 白	m	92.75
白線引き-6	西側駐車場のみ 駐車区画文字1~12まで、H500、W150換算	m	12.72
思いやりマーク	□1200、シート加圧接着 車椅子マーク(国際シンボルマーク)	箇所	1.00
フィールドペイント-1	W50 白、実線	m	10.80
フィールドペイント-1	W50、H50 白、文字	m	30.40
階段-1(BBQレストラン棟)	踏面350/蹴上150 4段、コンクリート階段+滑り防止段鼻タイル W15108~15250*L2000、現場打CON	箇所	1.00
階段-2(マルシェ棟)	踏面350/蹴上150 2段、擬石階段ブロック W2000*L1550、現場打CON	箇所	1.00
階段-3(エントランス棟)	踏面350/蹴上150 1段、擬石階段ブロック W3000*L1700、現場打CON	箇所	1.00
階段-4(エントランス棟)	踏面300/蹴上150 8段、コンクリート階段+滑り防止段鼻タイル W1270*L2400、現場打CON	箇所	1.00
階段-5(マルシェ棟)	踏面500/蹴上200 1段、コンクリート階段+滑り防止段鼻タイル W1294*L500、現場打CON	箇所	1.00
スロープ-1袖壁	袖壁W200L4620 スロープ片側のみ計上	箇所	1.00
ウッドデッキ(シーサイドテラス)	再生木エコウッドEシリーズ、一部幕板・地覆板あり、ベンチ共 RC40(t100)+捨CON(t50)+CON(t100)+デッキ	箇所	1.00
階段(シーサイドテラス)	現場打CON躯体、滑り防止段鼻タイル共 踏面350/蹴上150、8段	箇所	1.00
スロープ(シーサイドテラス)	現場打CON躯体 W2000(土間CON1800+袖壁200)*L16500	箇所	1.00
擁壁(シーサイドテラス)	現場打CON躯体、打ち放し仕上げ、撥水材塗布、水抜き穴共 W200*L17000、L型擁壁	箇所	1.00

名 称	仕 様	単 位	数 量
インターロッキング舗装-1化粧蓋充填	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、管理輻対応 B-13、B-14	箇所	2.00
インターロッキング舗装-2A化粧蓋充填	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、歩行者対応 B-1、B-2	箇所	2.00
インターロッキング舗装-2B化粧蓋充填	透水性ILB:太平洋プレコン工業和色ブロックST-N200*100、歩行者対応 C-2、F-2、G-1、G-2、H-1、H-3、H-5、H-6、H-7	箇所	9.00
3サービス施設整備工 ベンチ-1	座面:再生木複合材、躯体:現場打CON W895*L12000*H450/基	基	1.0
ベンチ-2	座面:再生木複合材、躯体:現場打CON W445*L4000*H450/基	基	4.0
ベンチ-3	座面:撥水材塗布(白)、立上り:撥水材塗布(ライトブルー)、躯体:現場打CON W450~≒800*L7070~≒8100*H420/基	基	1.0
ベンチ-4	座面:再生木複合材、立上り:撥水材塗布(白)、躯体:現場打CON W3000*L10600*H420/基	基	1.0
ベンチ-5	座面:撥水材塗布(白)、立上り:撥水材塗布(ライトブルー)、躯体:現場打CON W450~≒815*L≒8280~9990*H420/基	基	1.0
ベンチ-6	座面:撥水材塗布(白)、立上り:撥水材塗布(ライトブルー)、躯体:現場打CON W450~≒820*L20100~≒23100*H420/基	基	1.0
スタンドベンチ	座面(一部):再生木複合材、立上り・天端:撥水材塗布(白)、躯体:現場打CON W600~1800、L15750~34000、2段/式	式	1.0
カウンター	天端:人工再生木W295、脚部:スチールパイプ亜鉛メッキ+塗装 W295*L3000*H1000、現場打CON基礎*4	基	1.0
水飲み	擬石タマミカゲビシヤン仕上、ステップ*1+柵*1共 W1270*D490*H760	基	1.0
シャワー①	回転シャワーH2056*2、自閉水栓共、床枠5000*2050 床:現場打土間CON刷毛引き+壁撥水材塗布、H150立上り・砂溜柵共	箇所	1.0
シャワー②	回転シャワーH2056*2、自閉水栓共、床枠2500*2500/2104 床:現場打土間CON刷毛引き+壁撥水材塗布、H150立上り・砂溜柵共	箇所	1.0
4管理施設整備工 総合案内サイン	アルミ、表示面:W1200*H690、W1200、H1600 現場打CON基礎1800*600*H450	基	4.00

名 称	仕 様	単 位	数 量
避難案内サイン	アルミ、表示面：W1200*H690、W1200、H1600 現場打CON基礎1800*600*H450	基	2.00
触知サイン(総合案内)	スチール、表示面：H406*W550、W550、H1200 現場打CON基礎W750*D750*H400*1か所	基	1.00
施設名称サイン	アルミ、表示面：W440*H1850内、W450、H1850 現場打CON基礎W900*D700*H450*1か所	基	4.00
解説サイン	アルミ、表示面：W590*H890、W600、H1850 現場打CON基礎1100*700*H450	基	2.00
シンボルサイン	表示面：3000*1200内、W4000*D200*H1200 現場打CON躯体(擁壁)、打放仕上げ	基	1.00
名称サイン	表示面：5000*1000内、W5000*H2600 W5000*H2600、外照灯具*4基共、現場打CON基礎*3	基	2.00
4管理施設整備工(給水設備) 消火栓標識	平塚市消防指定品、ポール式、1面 現場打CON基礎□500*H600	箇所	2.0
- 車いす	砂地走行、管理棟設置 ジャリスターBW-3000同等品	台	2.0
4管理施設整備工 ポラード-1	擬石ビシャン仕上げ、可動式 φ200/φ300*H450、基礎ブロックφ290*H300	基	9.00
ポラード-2	SUS、固定式、クサリL5500+Bカン共 φ76.3*H850、CON基礎□250*H250	基	2.00
自然石車止め(既存移設)	自然石*3(300*500、450*500、600*500)、図の根入は想定 現場打CON基礎W1850*D900*t150*1か所	組	2.00
門扉	朝日スチール：UN-A両開き門扉H1800*W2000同等 基礎ブロック□300*H600*2	箇所	1.00
転落防止柵	H1100、@2000アルミ縦格子 φ40アルミ手すり*1段共、点字表示共、L17.30m	式	1.00
ハンドレール①	φ40アルミ手すり*1段、独立基礎・斜 H800、ホリカーホネット点字表示共、L8.3*2=16.60m	式	1.00
ハンドレール②	φ40アルミ手すり*1段、独立基礎・斜 H800、ホリカーホネット点字表示共、L8.30*2=16.60m	式	1.00

名 称	仕 様	単 位	数 量
ハンドレール③	φ40アルミ手すり*1段、独立基礎・斜 H800、ポリカーボネート点字表示共、L2.20*2=4.40m	式	1.00
ハンドレール④	φ40アルミ手すり*1段、階段-2建込・斜 H800、ポリカーボネート点字表示共、L1.50*2=3.00m	式	1.00
ハンドレール⑤	φ40アルミ手すり*1段、階段-3建込・斜 H800、ポリカーボネート点字表示共、L1.15*2=2.30m	式	1.00
ハンドレール⑥	φ40アルミ手すり*1段、独立基礎・斜 H800、ポリカーボネート点字表示共、L3.75m	式	1.00
ハンドレール⑦	φ40アルミ手すり*1段、独立基礎+スロープ建込・斜 H800、ポリカーボネート点字表示共、L16.90m	式	1.00
メッシュフェンス	朝日スチール：UN7フェンスA型UN-A1800L-50同等 @2000、基礎ブロック180*H450、L20.20m	式	1.00
6建築施設組立設置工 パーゴラ	ルーバー：アルミ型出形材、アルマイト処理、塗装（茶） W5000*D1875*H2500、現場打CON基礎*2	箇所	4.0



工区	工区②	工種	数量	単位	12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月		
					5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30
BBQ/スタジオ	5月	コンクリート	10.8	m	[Red bar]																													
		CO2削減	228	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		CO2削減BO	5.15	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		ILB-1B	1023	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	238	m	[Red bar]																												
		ファンクション	153	m	[Red bar]																													
		地盤調整-1	153	m	[Red bar]																													
		ILB-1	600.7	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		客土	1.0	家	[Red bar]																													
イオンプレイス	5月	構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	443	m	[Red bar]																												
		地盤調整-A	4.3	m	[Red bar]																													
		地盤調整-2	1.3	m	[Red bar]																													
		地盤調整-1B	16.1	m	[Red bar]																													
		歩道調整	13.7	m	[Red bar]																													
		コンクリート	21.15	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		CO2削減	200.2	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		AS調整	232	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		客土	1.0	家	[Red bar]																													
管理棟	7月	構築工事			[Red bar]																													
		7月	7月	4.2	m	[Red bar]																												
		地盤調整-A	2.2	m	[Red bar]																													
		シフトワーク	1.0	家	[Red bar]																													
		ハンダー	25.4	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		CO2削減	18.1	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		歩道調整			[Red bar]																													
		客土			[Red bar]																													
		2月	2月			[Red bar]																												
		客土			[Red bar]																													
芝生広場	5月	構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	45.3	m	[Red bar]																												
		地盤調整-A	1.0	家	[Red bar]																													
		ILB-A5-2	405.5	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	73.4	m	[Red bar]																												
		地盤調整-A	13.7	m	[Red bar]																													
		ファンクション	4.0	家	[Red bar]																													
		ILB-A5-1	60.4	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		ILB-A5-2	39.5	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
客土			[Red bar]																															
西工区	5月	構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	113.2	m	[Red bar]																												
		ファンクション	17.4	m	[Red bar]																													
		地盤調整-A	17.4	m	[Red bar]																													
		地盤調整-B	17.4	m	[Red bar]																													
		ハンダー**4区			[Red bar]																													
		ハンダー**4区			[Red bar]																													
		ILB-A5-1	1.0	家	[Red bar]																													
		ILB-A5-2	408.8	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		客土			[Red bar]																													
西中央道路	5月	構築工事			[Red bar]																													
		5月	5月	35.5	m	[Red bar]																												
		地盤調整-A	71.9	m	[Red bar]																													
		地盤調整-B	17.4	m	[Red bar]																													
		ILB-A5-1	1.0	家	[Red bar]																													
		ILB-A5-2	2133	m <sup>2</sup>	[Red bar]																													
		客土			[Red bar]																													
		5月	5月	69.5	m	[Red bar]																												
		地盤調整-B	164.5	m	[Red bar]																													
		地盤調整-2	3.5	m	[Red bar]																													
ハンダー	1.0	家	[Red bar]																															
ILB-A5	573.0	m <sup>2</sup>	[Red bar]																															
ILB-A5-1	37.7	m <sup>2</sup>	[Red bar]																															
客土			[Red bar]																															
構築工事			[Red bar]																															

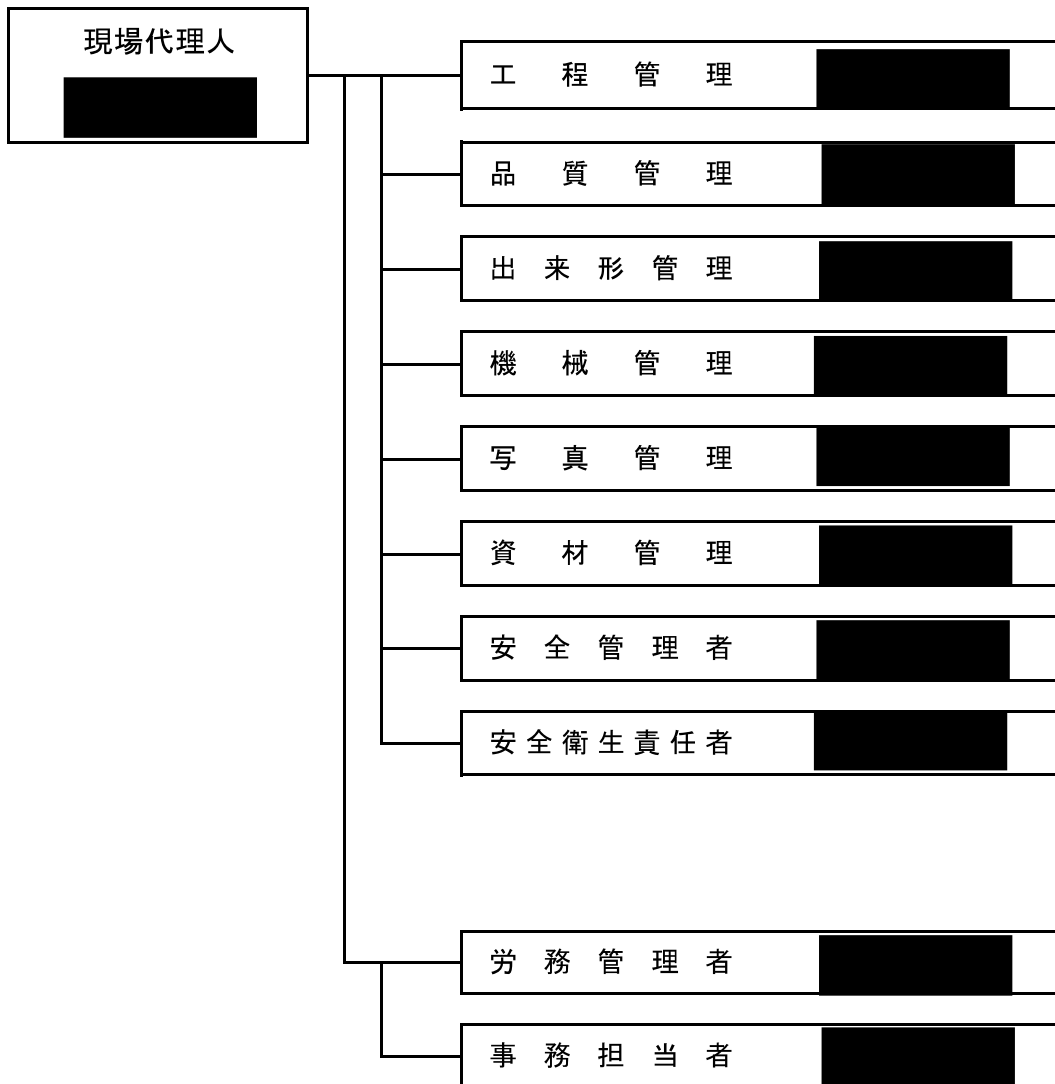
西工区





## 5. 現場組織図

### 1) 現場組織表



## 6. 施工体系図兼工事作業所災害防止協議会

発注者名	積水ハウス株式会社
工事名称	湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

工 自	令和 6年 7月 1日
期 至	令和 7年 9月 15日

元 請 名	(株)石勝エスティア
監 督 者 名	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	

会 社 名	榊林間
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	土木工事
期	2025/2/1~2025/9/15

会 社 名	吉海建設(株)
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	土木工事
期	2025/3/1~2025/9/15

会 社 名	大竹産業(株)
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	金物工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

会 長	安全衛生責任者
副 会 長	安全衛生推進者

会 社 名	(有)池見造園
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	植栽工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	小林庭苑
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	植栽工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	株式会社 磯みなど石材
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	石工事
期	2025/6/1~2025/9/15

会 社 名	木村植物園
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	2025/4/1~2025/9/15

会 社 名	前田道路(株)
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	舗装工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	株式会社 株式会社 パニー
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	舗装工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

会 社 名	(株)太平洋プロコン
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	インターロックが舗装工事
期	2025/5/1~2025/9/15

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

会 社 名	
安 全 衛 生 責 任 者	
主 任 技 術 者 名	
専 門 技 術 者 名	
担 当 工 事 内 容	
期	

注1) 下請負人に関する表示は、現に施工中(契約書上の工期中)の物に限り行えば足りる。

注2) 主任技術者の氏名は、当該下請負人が建設業者であるときに限り行う。

注3) 「専門技術者」とは、監理技術者又は主任技術者に加えて置く法第26条の2の規定による技術者をいう。

## 7. 安全管理

### 7-1 一般事項

- ・ 本工事は、「労働安全衛生規則」の定めるところにより、「土木工事安全施工技術指針」、「建設工事公衆災害防止対策要綱」を参考とし、常に安全管理に必要な処置を講じ、労働災害発生の防止に努めます。

### 7-2 工事安全管理体制

- ・ 工事区間内の作業及び一般道路の交通安全に、充分注意します。
- ・ 現場と外部の境界には保安柵を設けて、第三者の現場への立入禁止の措置を講じます。
- ・ 保安施設は常に点検整備し、不良箇所を発見した場合には直ちに補修・取替えをして安全確保に支障がないようにします。
- ・ 現場で作業に当たる作業員には材料や機械の搬入・搬出時にも安全作業の意識を徹底させ、現場出入口及び、安全を必要とする箇所には交通誘導員を配置します。
- ・ 資機材の搬入及び搬出に際しては、過積載を防止します。  
又、交通法規を遵守し安全運転に努め交通災害の防止に努めます。

### 7-3 衛生管理対策

- ・ 現場内の整理整頓に充分注意し、工事に従事する職員ならびに作業員が常に良好な体調で作業できる環境の維持管理を行います。
- ・ 体調の異常者が発見された時は、速やかに休憩させ医師の指導を仰いだ上で、適応した作業に従事させるか、就労させない等の措置を講じます。

### 7-4 工事安全衛生委員会の組織と行事

#### 【災害防止協議会】

毎月一回、当作業所職員ならびに協力業者、世話役等の参加の元に、安全衛生、工程等の協議を行います。

#### 【安全衛生訓練】

毎月一回、作業員全員参加にて工事の安全対策、災害対策について協議を行い、安全訓練等の実施状況報告書を作成して提出します。

#### 【危険予知活動】

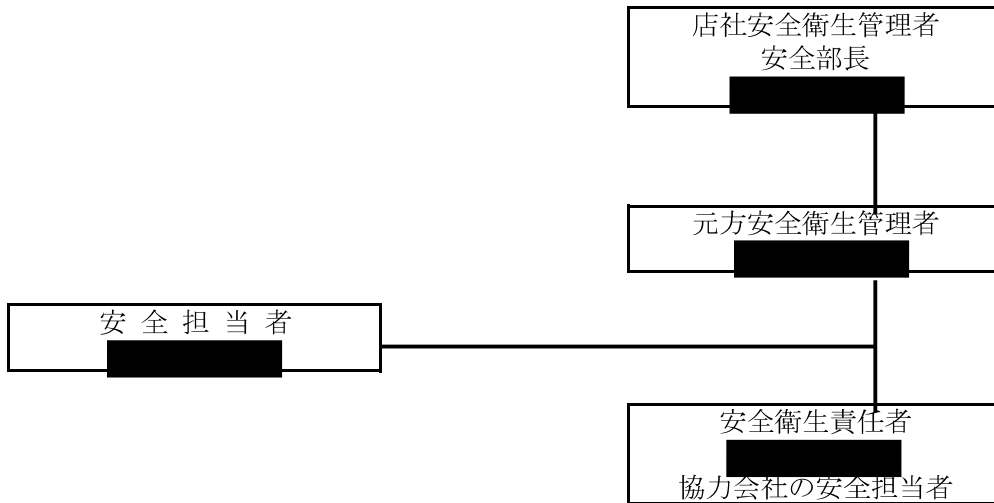
作業前に、協力業者全員参加で危険予知活動を行い、作業員一人一人が安全に対して、充分認識するようにします。

#### 【現場における安全教育】

作業前に協力業者全員に作業内容を十分理解させて、作業手順の周知徹底を図ります。

### 7-5 安全管理組織

安全衛生管理組織表（下図参照）の確立により、指揮命令系統、責任体制の明確化を図り、災害防止活動が作業員全員に周知徹底できる具体的な対策を講じ、安全対策及び安全作業の推進を図る。



### 7-6 安全重点目標

当工事における安全重点目標を以下に示す。

- ① 第三者災害の撲滅
- ② KY活動の強化による安全確保
- ③ 作業場の整理整頓による作業環境の確保

### 7-7 安全管理活動

当工事において行われる安全管理活動を下表に示す。

名 称	場 所	参 加 予 定 者	頻 度
朝 礼	現 場	現場作業従事者（全員）	作業時
K Y 活 動	現 場	現場作業従事者（全員）	作業時
新規入場者教育	現 場	協力会社	随 時
安全衛生協議会	現 場	協力会社	月 1 回
安 全 訓 練	現 場	現場作業従事者（全員）	月 1 回



## 9. 主要材料

品名	形状・寸法・規格			数量	単位	摘要
	H	C	W			
オリーブ3.5	3.5		1.5	1.00	本	
オリーブ2.5	2.5			1.00	本	
シロダモ株立	2.5		1.0	2.00	本	
タブノキ株立4.0	4.0		1.8	1.00	本	
タブノキ株立3.0	3.0		1.2	1.00	本	
タブノキ	3.0		1.2	19.00	本	
ヒメユズリハ	3.0		1.2	2.00	本	
ホルトノキ	3.0		1.2	1.00	本	
モチノキ	2.5		1.0	2.00	本	
ヤマモモ	3.0		1.2	1.00	本	
ウバメガシ	2.0		0.6	14.00	本	
ハマビワ	1.5		0.6	4.00	本	
フィリアオキ	1.0			1.00	本	
フィリトベラ	1.0			1.00	本	
オオシマザクラ(ウミネコザクラ)	3.0		1.5	15.00	本	
シマザルズベリ株立	3.0		1.5	3.00	本	
ネムノキ	3.0		1.5	5.00	本	
アキグミ	1.5		0.6	15.00	本	
ムクゲ白花笠	2.0		0.6	20.00	本	
イボタノキ	1.0			2.00	本	
クロマツ林	2.0			576.00	本	
常緑広葉樹林ウバメガシ	2.5			36.00	本	
常緑広葉樹林クロマツ	2.5			36.00	本	
常緑広葉樹林タブノキ	2.5			36.00	本	

常緑広葉樹林ヒメユズリハ	2.5	36.00	本	
常緑広葉樹林モチノキ	2.5	36.00	本	
イヌマキ生垣	2.5	153.00	本	
アオキ	0.5	0.3	503.00	株
アセビ	0.5	0.3	503.00	株
トベラ	0.5	0.4	754.00	株
シャリンバ	0.5	0.3	754.00	株
アオキ	0.5	0.3	1,005.00	株
アセビ	0.5	0.3	1,005.00	株
トベラ	0.5	0.4	1,507.00	株
シャリンバイ	0.5	0.3	1,507.00	株
ハマヒサカキ	0.5	0.4	2,458.00	株
ハイネズ・ブルーパシフィック	pot	80.73m	437.00	pot
キチジョウソウ	pot		1,328.00	pot
ツワブキ	pot		1,328.00	pot
アガパンサス	pot		1,328.00	pot
ハマギク	pot		1,328.00	pot
コウライシバ			2,259.35	m2
マルバシャリンバイ		0.3	157.00	株
ハマナス	pot		157.00	pot
ハマニガナ	pot		560.00	pot
コウボウシバ	pot		560.00	pot
コウボウムギ			560.00	pot
テリハノイバラ			358.00	pot
ハマギク			358.00	pot
ハマゴウ			560.00	pot

ハマヒルガオ		560.00	pot	
ハマボウフウ		560.00	pot	
支柱丸太	タナリスCY注入 L=4000 末口30	150.0	本	
根杭	タナリスCY注入 L=450 末口60	90.0	本	
丸太杭	タナリスCY注入 H1800 末口60	120.0	本	
横木	タナリスCY注入 L800 末口60	60.0	本	
唐竹	唐竹 L4000 末口25内外	924.0	本	
客土	赤黒土	878.6	m3	
竹ず	H1000	97.5	m	
竹ず	H1500	83.5	m	
樹名板-1	角中(FN-15型) 20VP再生塩ビ管(黒)	13.0	基	
樹名板-2	角中(FN-15型) ステンレススプリングφ10	13.0	基	
再生碎石	RC-40	1006.0	m3	
単粒度碎石	4号φ20-30	1.0	m3	
砂		627.10	m3	
セメント		70.00	袋	
プライムコート	PK-3 1.5ℓ/m2	890.00	ℓ	
密粒度アスファルト	13mm	124.90	t	
開粒度アスファルト	改質Ⅱ型 2号	298.80	t	
アクリル樹脂系塗料	アーバンコートハードタイプ30			
	トップコート	892.5	kg	
	ベースコート	549.2	kg	
	レベルコート	476.0	kg	
常温塗布式自然土舗装	アーバンライト	274.9	kg	
透水シート	不織布	76.0	巻	



インターロッキングブロック	ST-N 200*100*t80	600.7	m2	太平洋プレコン
	ST-N 200*100*t60	2331.4	m2	太平洋プレコン
歩車道境界ブロック	150/170*200*600	629.0	本	エスケイ
	150/190*200*600	104.0	本	エスケイ
切下ブロック	163/170*70*600	6.0	本	エスケイ
地先境界ブロック	□120*600 片面R付	906.0	本	エスケイ
地先境界ブロック	□120*600 両面R付	601.0	本	エスケイ
	□120*600	123.0	本	エスケイ
U型側溝	W150	9.0	本	エスケイ
コンクリート	18-8-25N	54.0	m3	東急ジオックス
	21-8-25N	308.4	m3	東急ジオックス
ランドスケープエッジ	ロックンエッジ	278.0	本	住友林業
誘導ブロック	点状ブロック □300 t60 透水性	170.0	枚	東洋工業
	線状ブロック □300 t60 透水性	155.0	枚	東洋工業
点字鋏	ステンレス点字鋏UY-300 樹脂イエロー	425.0	本	ユニオン
タイヤ止め	カーストップパーCS-1	85.0	組	小倉セメント
思いやりシート	クイックシートW1200*H1200	1.0	箇所	サンコー企画
デッキ材	エコNウッド145*30	231.0	m2	(株)エコウッド
鉄筋	D10	1913.0		
	D13	1059.0		
擬石階段ブロック	350*600*150 SP-35 ハンスリップ加工	12.0	枚	日本興業
滑り防止段鼻タイル	60*150*10 SP-30	572.0	枚	日本興業
スケートボード抑制対策バー	SBDD-OS	20.0	基	第一機材
カウンター	RTFT-163106A-TJ	1.0	基	(株)サカエ
パーゴラ	DCFT-163105A-KG	4.0	基	(株)サカエ
転落防止柵	ピュアライン(縦格子タイプ)2011-W	17.3	m	三協アルミ

手摺	テスリーフ(ピュアライン仕様)一段仕様	63.6	m	三協アルミ
水飲み	本体WHT-5051、蓋受枠WHT-001U、集水柵WQC-360、ステップWDU-010	1.0	基	(株)サカエ
ボラード-1	ストーンボラード(TPN-002D)	9.0	基	帝金
基礎ブロック	BDN-290	9.0	基	帝金
ボラード-2	バリカーピラー型(S53-A)片フック	2.0	基	帝金
ステンレスクサリ	5mm L5.0m ステンレスBカン	2.0	基	帝金
シャワー①②	ヌーティS A1404-C02	2.0	基	SENSUI
	自閉式横水栓TL19	2.0	基	toto
グレーチング	□550スチール製グレーチング蓋□450柵用受枠付t31	2.0	基	
メッシュフェンス	スチールUNフェンスA型(UN-A1800L-50)	20.2	m	朝日スチール
門扉	スチールUNフェンスA型(UN両開門扉H1800-50*W2000)	1.0	基	朝日スチール
総合案内サイン	FavoサインW1200*GLH1600	4.0	基	(株)サイト
触知サイン	FavoサインW450*GLH1850	1.0	基	(株)サイト
施設名称サイン	FavoサインW450*GLH1850	4.0	基	(株)サイト
解説サイン	FavoサインW600*GLH1850	2.0	基	(株)サイト
シンボルサイン	ステンレス切り文字 SUS316HL仕上げH300*20	1.0	基	
名称サイン	表示面SPコート印刷(アルミペースト)	4.0	基	
消火栓標識	SH-01L	1.0	基	積水樹脂

## 施工方法

### 共通事項

#### 一般事項

この章は、本工事の共通事項にあたる各種工事に適用する。

#### 基本要品質

掘削(床掘)は、所定の形状及び寸法を有する事。また、掘削底は、上部の構造物に対して有害な悪影響を与えないように、平坦で整ったものであること。  
埋戻しは、所定の材料を用い、所定の状態で締固められ、所要の仕上がり状態である事。

#### 災害及び公害の防止

工事中は、異常沈下、法面の滑動等による災害が発生しないよう、災害防止措置を講ずる。  
工事現場内外における土砂の運搬によるこぼれ及び飛散、排水による泥土の流出等を防止し必要に応じて、清掃及び水洗いを行う。  
掘削機械等の使用にあたり、騒音、振動などの工事現場内外への危害の防止及び周辺環境の維持に努め、必要に応じて適切な措置を講ずる。

#### 掘削・床掘

掘削は周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法とし、関係法令等に基き、適切な法面又は、山留を設ける。  
掘削場所に近接して、崩壊または破損の恐れがある建築物、埋設物等がある場合には、損傷防止措置を講ずる。  
給排水、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行う。  
なお、給排水等を掘り当てた場合には、損傷しない様に注意し、必要に応じて応急処置を行い、監督職員と協議する。  
掘削底は地盤をかく乱しないように掘削する。  
地盤をかく乱した場合には、監督職員の承諾を受け、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な措置を講ずる。  
掘削底お状態が設計図書に定められた支持地盤と異なる場合は、監督職員と協議する。

#### 排水

工事に支障を及ぼす雨水、湧き水、溜水などは、適切な排水溝、集水桝等を設け、ポンプ等により排水する。ただし、予想外の出水等により施工上重大な支障を生じた場合は、直ちに施工責任者と協議する。  
排水により根切底、法面、現場場内、近隣などに有害な影響を与えないよう適切な措置を講ずる。  
工事現場外への放流の場合は、必要に応じて、沈砂槽などを設け、関係法令に基づき適切に放流する。

#### 砕石地業

地業使用材料は指定が無い限り再生クラッシュランとし、適用は特記事項による。  
なお粒度はJIS A 5001(道路用砕石)によるC-40程度とする。  
砕石地業の範囲及び厚さは、特記による。特記が無ければ、厚さ60mmとする。  
砕石を敷均し、所定の厚さに締め固める。  
締め固めは緩み、バラつき等が無いように、十分締め固めを行う。

#### 埋戻し

埋戻し及び盛土の材料並びに工法は特記による。特記が無ければ、下記の表により、種別は特記による。

種別	材料	工法
A種	山砂の類	水締め、機器による締め固め
B種	根切土の中の良質土	機器による締め固め
C種		機器による締め固め
D種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締め固め

※B種又はC種の場合は、良質土として認められない場合、施工責任者と協議する。

### 鉄筋工事

#### 基本要品質

鉄筋工事に用いる材料は、所定の物である事。  
組み立てられた鉄筋は、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に保持されている事。  
また、鉄筋の表面は、所要の状態であること。  
鉄筋の継手及び定着部は、作用する力を伝達できるものであること。

#### 配筋検査

主要な配筋は、コンクリートの打ち込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり厚さ、間隔、相互のあき、位置などについて、必要に応じて検査を受ける。

### 材料

#### 鉄筋

鉄筋は下記の表により、鉄筋の種類などは特記による。

規格番号	規格名称等	種類の記号
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235, SR295, SR295A, SR295B, SD345, SD390
-	建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた船団補強筋	-

溶接金網

溶接金網はJIS G 3551(溶接金網及び鉄筋格子)による。鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径は特記による。

加工及び組立  
加工及び一般

鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ常温で正しく加工して組み立てる。有害な曲がり、損傷などのある鉄筋は使用しない。鉄筋の切断は、シヤーカッター等により行う。鉄筋の折り曲げ形状及び寸法は下記表による。なお、異形鉄筋の径(図及び表にて「d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。

表 8.3.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		鉄筋の種類 呼び名	SD295A, SD295B, SD345	SD390
180°		D16 以下	D19~D38	D19~D38
135°		3d 以上	4d 以上	5d 以上
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)				

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。  
2. 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

組立

鉄筋は鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、吊金物等を使用して、堅固に組み立てる。なお、スペーサーは、所定の位置に鉄筋を保持するとともに、作業荷重に耐えられるものとする。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。

継手及び定着

鉄筋の継手は、重ね継手とし、適用は特記による。鉄筋の継手位置は、特記による。鉄筋の重ね継手は、次による。なお、径が異なる鉄筋の継手の長さは、細い鉄筋の径による。1)主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d(軽量コンクリートの場合は50d)又は下記の表の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

表 8.3.2 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度( $F_c$ ) ( $N/mm^2$ )	$L_t$ (フックなし)	$L_{th}$ (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

(注) 1.  $L_t$ 、 $L_{th}$ ：重ね継手の長さ及びフックありの重ね継手の長さ  
2.  $L_{th}$ は、図 8.3.1 に示すようにフック部分  $l$  を含まない。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

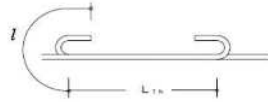


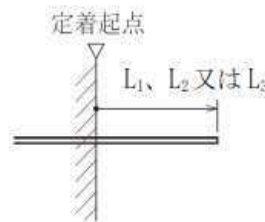
図 8.3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- 2) 1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは上記の表による。  
 3) 鉄筋の定着は、次による。  
 ア) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記が無ければ、下記の表による。

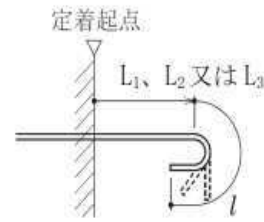
表 8.3.4 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 ( $F_c$ ) (N/mm <sup>2</sup> )	直線定着の長さ				フックありの定着の長さ			
		$L_1$	$L_2$	$L_3$		$L_{1n}$	$L_{2n}$	$L_{3n}$	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24, 27	35d	30d			25d	20d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d	(片持小梁の場合は25d)	(片持スラブの場合は25d)	35d	30d	10d	—
	21	45d	35d			30d	25d		
	24, 27	40d	35d			30d	25d		
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24, 27	45d	40d			35d	30d		
	30, 33, 36	40d	35d			30d	25d		

- (注) 1.  $L_1$ ,  $L_{1n}$ : 2. から 4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ  
 2.  $L_2$ ,  $L_{2n}$ : 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ  
 3.  $L_3$ : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。  
 4.  $L_{3n}$ : 小梁の下端筋のフックありの定着の長さ  
 5. フックありの定着の場合は、図 8.3.2 に示すようにフック部分  $l$  を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。  
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。



直線定着の長さ



フックありの定着の長さ

図 8.3.2 直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

- 4) 溶接金網の継手及び定着は次による。  
 ア) 溶接金網の継手及び定着は下記の図による。

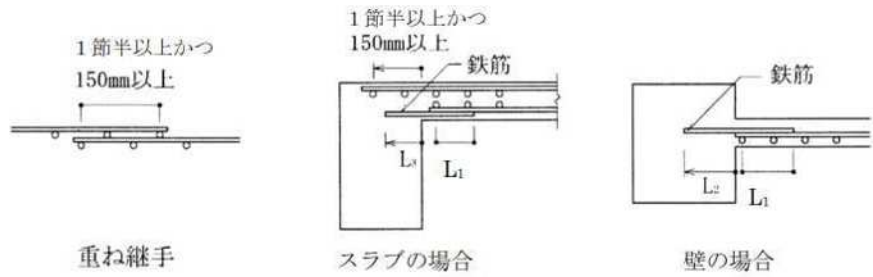


図 8.3.4 溶接金網の継手及び定着

5) 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、特記による。特記が無ければ、下記の表による。

表 8.3.6 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類			最小かぶり厚さ(mm)	
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
		仕上げなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
擁壁、耐圧スラブ			40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		60	
煙突等高熱を受ける部分			60	

- (注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。  
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。  
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。  
 4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

鉄筋の組立後、あゆみ板を置き渡すなどの措置を講じ、直接鉄筋の上を歩かないようにする。コンクリートの打ち込みによる、鉄筋の乱れを可能な限り少なくするとともに、かぶり厚さ、鉄筋の位置及び間隔の保持に努める。

コンクリート工事  
基本要品質

コンクリート工事に用いる材料は、所定のものであること。  
打ち込まれたコンクリートは、所定の形状、寸法及び位置並びに密実な表面状態を有する事  
コンクリートは、所定の強度を有し、構造耐力、耐久性、耐火性などに有害な欠陥がないこと。

コンクリートの種類及び品質

コンクリートの種類

コンクリートの種類は下記表により、適用は特記による。特記が無ければⅠ類とする。

表 6.2.1 コンクリートの類別

類別	製造区分
Ⅰ類	JIS Q 1001 (適合性評価—日本工業規格への適合性の認証—一般認証指針)及び JIS Q 1011 (適合性評価—日本工業規格への適合性の認証—分野別認証指針 (レディーミクストコンクリート)) に基づき、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート)への適合を認証されたコンクリート
Ⅱ類	上記以外の JIS A 5308 に適合したコンクリート

建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリートは、特記による。

コンクリートの強度

コンクリートの設計基準強度( $F_c$ )の値は、普通コンクリートにおいては $36\text{N}/\text{mm}^2$ 以下、軽量コンクリートにおいては $27\text{N}/\text{mm}^2$ 以下とし、特記による。  
構造体とするために打ち込まれるコンクリート強度は、材齢28日において調合管理強度以上とする。  
構造体コンクリート強度は、設計基準強度( $F_c$ )以上とし、工事現場で採取し、養生された供試体の圧縮強度を基に推定する。

気乾単位容積質量

普通コンクリートの気乾単位容積質量は、 $2.1\text{t}/\text{m}^3$ を超え $2.5\text{t}/\text{m}^3$ 以下を標準とする。

ワーカビリティ及びスランブ

コンクリートのワーカビリティは、打ち込み場所、打ち込み方法及び締固め方法に応じて、型枠内並びに鉄筋及び鉄骨周囲に密実に打ち込むことができ、かつ、ブリーディング及び材料分離が少ないものとする。  
コンクリートの荷下ろし時点におけるスランブは、特記による。特記が無ければ下記表による。

表 6.2.2 スランブ

打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁
スランブ(cm)	15、18	18

コンクリートの運搬

コンクリートの運搬は、JIS A 5308の規定によるほか、次による。  
後述コンクリートの混ぜ込みから打ち込み終了までの時間的條件を満たす事。  
コンクリートには、運搬にあたり、水を加えない事。  
荷下ろし直前にトラックアジテータのドラムを高速回転して、コンクリートが均質になるようにすること。

工事現場内運搬

運搬用機器は次による。  
ア)コンクリートポンプ、バケット、シュート、手押し車などとし、コンクリートの種類、品質及び施工条件に応じて、運搬によるコンクリートの品質の変化が少ない機器を選定する。  
イ)仕様に先立ち、内部に付着したコンクリート、異物えお取り除き、十分に整備点検を行った機器を使用する。  
ウ)コンクリートポンプによる圧送に当たり水を加えない。  
エ)コンクリートポンプによる圧送の場合は次による。  
1.輸送管の保持には、指示台に坂道を置いたもの、指示台、脚立、吊り金具などを使用し、輸送管の振動により型枠、配筋及び既に打ち込んだコンクリートに有害な影響を与えないこととする  
2.輸送管の呼び寸法は、圧送距離、圧送高さ、コンクリートの圧送による品質への影響の程度、コンクリートの圧送の難易度、気温など、単位時間当たりの圧送量及び粗骨材の最大寸法を考慮して定める。ただし、粗骨材の最大寸法に対する輸送管の呼び寸法は下記表による。



表 6.6.1 粗骨材の最大寸法に対する輸送管の呼び寸法

粗骨材の最大寸法 (mm)	輸送管の呼び寸法
20	100A 以上
25	
40	125A 以上

オ)コンクリートの圧送に先立ち、富調合のモルタルを圧送して、コンクリートの品質変化を防止する事。また、必要に応じて、モルタルのさあそうに先立ち、水を用いて装置の内面を潤すこと。

なお、圧送後のモルタルは、型枠内に打ち込んでではない。ただし、これにより難しい場合は、施工責任者と協議する。

カ)圧送中に、コンクリートの品質変化を目視などにより確認した場合又は閉塞した場合は、そのコンクリートを廃棄する。

コンクリートの練り混ぜから打ち込み終了までの時間

コンクリートの練り混ぜから打ち込み終了までの時間は、外気温が25℃以下の場合は120分以内とし、25℃を超える場合は90分以内とする。  
上記の時間は、コンクリートの温度を低下させる、又は、その凝結を遅らせるなどの措置を講ずる場合は、品質管理者の承諾を受けて、替えることが出来る。

打ち込み

コンクリートの品質に悪影響を及ぼす恐れのある降雨又は降雪が予想される場合若しくは打ち込み中のコンクリート温度が2℃を下回る恐れのある場合は、適切な養生を行う。  
なお、適切な養生を行う事が出来ない場合は、打ち込みを行わない。  
打ち込みに先立ち、打ち込み場所を清掃して雑物を取り除き、散水して石板及び打ち継ぎ面を湿潤にする。  
コンクリートは、目的の位置に可能な限り近づけて打ち込む。また、柱で区切られた壁においては、柱を通過させるようなコンクリートの横流しはしない。  
一回で打ち込むように計画した区画内では、コンクリートが一体となるように連続して打ち込む。  
打ち込み速度は、コンクリートのワーカビリティ、打ち込み場所の施工条件等に応じ、良好な締固めできる範囲で定める。  
コンクリートの自由落下高さ及び水平流動距離は、コンクリートが分離しない範囲で定める。  
打ち込みにあたり、鉄筋、型枠、スパーサー及びバーサポートを移動しないように努める。

締固め

締固めは、鉄筋、鉄骨、埋設物などの周囲や型枠の隅々までコンクリートが充填され、コンクリートが密実になるように、振動機を扱う作業員、たたき締めを行う作業員、型枠工、鉄筋工、等を適切に配置する。  
締固めは、コンクリート棒形振動機、型枠振動機又は突き棒を用いて行い、必要に応じて、他の用具を補助として用いる。  
コンクリート棒形振動機は、打ち込み各層毎に用い、その下層に振動機の先端が入るように、ほぼ垂直に挿入する。打ち込み高さや速度に応じて、挿入間隔は60cm以下とし、加振はコンクリートの上面にペーストが浮くまでとする。コンクリート棒形振動機を引き抜くときは、コンクリートに穴を残さないように加振しながら徐々に引き抜く。  
型枠振動機は、打ち込み高さ及び打ち込み速度に応じてコンクリートが密実になるように、順序だてて加振する。

上面の仕上げ

上面は、所定の位置と勾配に従って、下記表の規定する仕上がりの平坦さが得られるように仕上げる。  
コンクリート打ち込み後の均しでは、所定の位置と勾配に荒均しを行った後、コンクリートが凝結硬化を始める前に、タンパーなどで表面をたたき締め、平坦に敷均し、コンクリートのひび割れを防止する。  
コンクリートの表面は、所定の位置を保つように、長尺の均し定規を用いて平坦に均す。

打ち込み後の確認等

豆板、空洞、コールドジョイントなどの有無の確認は、せき板の取り外し後におこなう。  
コンクリートの有害なひび割れ及びたわみの有無の確認は、支保工の取り外し後に行う。

養生

コンクリートを寒気から保護し、打ち込み後5日以上は、コンクリート温度を2℃以上に保つ。ただし、早強ポルトランドセメントの場合は、温度応力による悪影響が生じないように適切に養生をおこなう。  
コンクリート打ち込み後、セメントの水和性により部分断面の中心部温度が外気温より25℃以上高くなる恐れがある場合は温度応力による悪影響が生じないように適切に養生を行う。

型枠

型枠はせき板と支保工から構成する。  
型枠は、作業荷重、コンクリートの自重及び側圧、打ち込み時の振動及び衝撃並びに水平荷重等の外力に耐え、構造体コンクリートの仕上がりを得られるものとする。  
型枠は、有害な水漏れがなく、取り外しにあたり、コンクリートに損傷を与えないものとする。  
型枠は、足場、遣方などの仮設物と連結させない。  
コンクリートの打ち込みに先立ち、型枠の組立状態を確認し、品質管理者に報告する。  
型枠の取り外しは、型枠の最小在置期間の経過後に行う。  
型枠の在置期間は次による。  
最小在置期間は下記表により、コンクリートの材齢又はコンクリートの圧縮強度により定める。



表 6.8.2 せき板の最小存置期間

施工箇所		基礎、梁側、柱、壁			
		セメントの種類 存置期間中の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種	高炉セメントB種、シリカセメントB種、フライアッシュセメントB種
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上		2	3	5
	5℃以上	3	5	7	8
	0℃以上	5	8	10	12
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が 5N/mm <sup>2</sup> 以上となるまで。			

(注) 圧縮強度を圧縮強度試験により確認する場合は、6.9.3(1)(イ)による工事現場における水中養生供試体又は封かん養生供試体の圧縮強度とする。

表 6.8.3 支柱の最小存置期間

施工箇所		スラブ下			梁下
		セメントの種類 存置期間中の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種	中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメント、高炉セメントB種、シリカセメントB種、フライアッシュセメントB種
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上		8	17	28
	5℃以上	12	25		
	0℃以上	15	28		
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) の 85% 以上又は 12N/mm <sup>2</sup> 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。			圧縮強度が設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

(注) 圧縮強度を圧縮強度試験により確認する場合は、6.9.3(1)(イ)による工事現場における水中養生供試体又は封かん養生供試体の圧縮強度とする。

植栽工  
高中木植栽工

位置出し	施工前に図面を参考に位置出しを行い品質管理者の確認を受けます。
植穴掘削	基準寸法に応じた植穴掘削します。 植穴をよく耕し、瓦礫などがあった場合は除去したのちに中高に敷均しを行う。 必要に応じて土壌硬度及び透水試験を実施し結果を報告するとともに、 不具合がある場合には施工責任者と協議のうえ必要な処置を行います。
剪定	材料は品質管理者と協議のうえ適度に枝葉を切り詰め枝透かしを行います。
幹巻	材料は必要に応じて幹巻を行います。 幹巻は樹高の60%の高さまで天然繊維材(緑化テープ)にて行います。
植付	樹木の表裏に注意し植付を行います。
水極め	鉢全体に十分水が回るようにたっぷりを行い、 水が引いた後に土を補充しかるく押さえて仕上げる。 完了後水鉢を切り必要に応じて引渡まで灌水を行う。
支柱工(地上支柱)	支柱材と樹木の交差部分は人孔杉皮を使用し棕櫚縄はゆるみの無いように 割縄掛けに結束し支柱の丸太、竹の交差する部分は釘打ちのうえ鉄線掛けを行います。 鉄線は#18以上を使用し、結束は2本どり3巻以上とする。
養生	天候、乾燥状態により必要に応じて灌水を行います。

低木植栽工

位置出し	施工前に図面を参考に位置出しを行い品質管理者の確認を受けます。
植穴掘削	基準寸法に応じた植穴掘削します。植穴をよく耕し、 瓦礫などがあった場合は除去したのちに中高に敷均しを行う。 必要に応じて土壌硬度及び透水試験を実施し結果を報告するとともに、 不具合がある場合には施工責任者と協議のうえ必要な処置を行います。
剪定	材料は監督員と協議のうえ適度に枝葉を切り詰め枝透かしを行います。
植付	樹木の表裏に注意し植付を行います。
灌水	植付後ただちに十分な灌水を行います。
養生	天候、乾燥状態により必要に応じて灌水を行います。

地被類植栽工

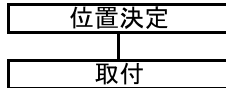
位置出し	施工前に図面を参考に位置出しを行い品質管理者の確認を受けます。
植床準備	植え込み地に水勾配をつけ不陸整正を行います。
植穴掘削	基準寸法に応じた植穴掘削します。植穴をよく耕し、 瓦礫などがあった場合は除去したのちに中高に敷均しを行う。 必要に応じて土壌硬度及び透水試験を実施し結果を報告するとともに、 不具合がある場合には施工責任者と協議のうえ必要な処置を行います。
剪定	材料は品質管理者と協議のうえ適度に枝葉を切り詰め枝透かしを行います。
植付	樹木の表裏に注意し植付を行います。



植え込み地に客土t100にて水勾配をつけ不陸整正を行います。  
植床は踏圧により沈下しない程度に転圧を行い、  
水溜まりが出来ないか確認を行う。

芝目地を取らず100%張りにて施工を行う。  
※急勾配箇所には目串にて固定を行う。  
芝張り後に目砂を行い、十分に灌水を行います。

樹名板工



施工前に取付位置を計画し品質管理者の承諾を受けます。

幹巻型については外れる事が無いように固定します。  
埋め込み型については対象植物から突出しないようにかつ低木の成長により隠れないように  
適当な高さにて目線を配慮して設置致します。

舗装工事  
土間コンクリート(下地含)

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時ブルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
型枠	丁張に合わせて寸法通りに型枠を設置する。
配筋	設計図書の内容を基に配筋を行う。
コンクリート打設	打設に先立ち碎石面に散水を行い十分に湿らせます。 コンクリートは到着後直ちに打設を開始し、 材料が分離しないように留意しバイブレーターにて十分に締固めを行いながら打設します。 刷毛引きにて仕上げを行い、伸縮目地を4mピッチにて設ける。 打設後は必要に応じて養生マット等にて湿润状態を保ちます。

アスファルト舗装

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時ブルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
アスファルト舗装	合材運搬については保温シート掛けにより合材温度低下に特に注意し供給間隔が開いたり待機時間が長くないように事前に計画を行い連続的に舗装が出来るように注意する。 敷き均し時の合材温度が110℃を下回らないようにし、転圧温度が70℃を下回らないように注意して締固めを行う。 通行の支障となる水溜まりが生じないように注意し施工を行う。
カラーアスファルト舗装-1	敷設したアスファルトがおおむね50℃以下になったら開放とし、その後仕上げを行う。 常温塗布式自然土系舗装をt30にて敷き均しを行い、如雨露などにより散水を行い十分に湿らせた後に、木鏝抑えを行い均一に敷き均しを行う。
カラーアスファルト舗装-2	敷設したアスファルトがおおむね50℃以下になったら開放とし、その後仕上げを行う。 アスファルト面を十分に清掃を行い、レベルコートを塗布する。 レベルコートが乾いた後にベースコートの塗布を行う、この際にゴミや埃等が入らないように十分注意して塗布作業を行い、同様にトップコートを塗布し十分に養生を行う。

インターロッキングブロック舗装  
視覚障害者ブロックを含む

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時ブルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。 転圧後透水シートを敷設し、飛散しないように注意して施工を行う。
フィルター層	砂をt100敷き均し十分に転圧を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。

	必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
敷砂	敷砂は必要な厚さで路盤上に敷均し、均一な密度になるように締固める。
ブロック敷設	事前に割付図などを提出し承諾を受けたパターンにてブロックの敷設を行います。 加工部部材が基本的にブロックの1/2以上のとし、割付を行う。 ブロックの端部加工はカッター切断にて行い切断面の通りを通す。 転圧は専用のコンパクターにて行う。
目地砂	目地砂は珪砂を用いホウキなどにて十分転圧を行います。 目地砂充填後専用のコンパクターにて再度転圧を行い、再度目地材を充填致します。 転圧後目地の通りをパールやドライバー等にて修正を行い木槌等で叩いて仕上げる。

#### 砂利敷き

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時ブルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
砂利敷き	整正した路床に防草シートを敷設する、防草シートの重ね幅は150mmとし飛散防止用の固定ピンなどで固定を行う。 柵等の突出物の周りは加工し路床が見えなくなるようにシートにて覆う。 規定の砂利厚を確保し均一に敷均しを行う。

#### トラフィックペイント工

墨出し工	有効寸法や必要寸法等設計図書に基づき測量し、墨だしを行う。
トラフィックペイント工	舗装面が乾燥状態な事を確認し、ゴミや埃などが無いように清掃を行い、プライマーを塗布する。規定の幅や長さを遵守し、ライン引きを行う。 塗料が硬化もしくは乾燥するまで十分に養生を行い、完全に乾燥してから開放する。

## 工作物工事

### 擁壁工/各種基礎工

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
型枠	所定位置に型枠を設置します。 所定の間隔において伸縮目地を設け、その部分の配筋は切断する。
コンクリート打設	打設に先立ち型枠、碎石面に散水を行い十分に湿らせます。 コンクリートは到着後直ちに打設を開始し、 材料が分離しないように留意しバイブレーターにて十分に締固めを行いながら打設します。 天端は金鏝にて仕上げ打設後は必要に応じて養生マット等にて湿潤状態を保ちます。

### 縁石工

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
基礎コンクリート	バイブレーター等を用いて十分に締固めながら打設し所定の養生を行います。
縁石据付	1:3モルタルにて安定よく据付ます。目地は7mm標準とし1:2モルタルにて仕上げます。

### ポラード工

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
基礎コンクリート 基礎ブロック	バイブレーター等を用いて十分に締固めながら打設し所定の養生を行います。 規程の高さに天端を揃え据付を行います。
据付工	製品を垂直に据付を行います。

### 平板工

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
碎石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。

平板工	1:3モルタルにて安定よく据付ます。目地は7mm標準とし1:2モルタルにて仕上げます。側面はモルタルにて外周部固定を行います。
基礎工事	
測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
砕石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
型枠	所定位置に型枠を設置します。 所定の間隔において伸縮目地を設け、その部分の配筋は切断する。 基礎天端に水勾配を設け水が溜まらないよう計画を行う。
コンクリート打設	打設に先立ち型枠、砕石面に散水を行い十分に湿らせます。 コンクリートは到着後直ちに打設を開始し、 材料が分離しないように留意しパイプレーターにて十分に締固めを行いながら打設します。 天端は金鍍にて仕上げ打設後は必要に応じて養生マット等にて湿潤状態を保ちます。
見切工	
測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
砕石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
見切工	据付には補助の杭を用いて舗装の外側に杭の天端が飛び出さないように打ち込み釘などにて固定を行います。(1m間隔にて杭固定)
タイヤ止め工	
墨出し	所定の位置に墨出しを行い、離隔や駐車区画に関する問題が無いか確認を行う。
据付工	アンカー位置に削孔を行い、削孔後清掃を行い接着面に埃等が無いようにし、 タイヤ止めの接着面とアンカー孔に接着剤を塗布し、 所定の位置にタイヤ止めの据付を行います。 据付時接着剤がタイヤ止めよりもはみ出してしまう事があるので、 はみ出した接着剤は拭き取り、接着剤が固まるまで十分養生を行う。
自然石車止め	
既設車止め撤去工	既設の車止め撤去着手前に、現況の確認を行い破損等問題が確認されたら監督員に報告を行います。 既設の根巻コンクリートを研り、掘り取りを行います。 撤去した自然石車止めは、養生を行い保管致します。
測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。
床掘	所定の深さにて掘削後地均しを行い障害になる石・瓦礫などは撤去します。
路床	整正後タンパ・プレート・ローラー等にて十分転圧を行う。 転圧時プルフローリングを行い、必要に応じて地盤改良を行う。
砕石地業	路盤材は材料の分離に注意し適切な転圧を用い転圧を行う。 必要に応じて散水を行いながら適切含水比付近にて転圧し設計寸法に仕上げる。
基礎コンクリート	パイプレーター等を用いて十分に締固めながら打設し所定の養生を行います。
据付工	所定の位置にて据付を行います。 据付後根巻コンクリートを行い、コンクリートが硬化するまで十分養生を行います。

困障工事  
フェンス・門扉工

測量・丁張

施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。  
また、品質管理者と協議の元仕上げ高等の承認の上施工を行う。

基礎ブロック工

碎石路盤を設け十分に転圧を行います。  
基礎ブロックを規定の位置に据付を行います。  
据付後基礎ブロックの埋め戻しの際に、基礎ブロックが動かないよう注意し埋め戻しを行い、十分に転圧を行います。

柱建込

柱を基礎ブロックに規定の根入れを入れ垂直に建込を行います。  
建込を行ったのちに無収縮モルタル1:3にて固定を行い、モルタルが固まるまで、十分養生を行います。  
基礎ブロックが地表に出る場合は柱の根元に水が溜まらないように外部に向けモルタルにて水勾配を設ける。

パネル取り付け工

柱間にフェンスパネルを設置する。  
寸法により端部加工が必要な場合は、メッシュ目の交差部の根元で切断を行いメッシュ横地がはね出さないように加工を行います。  
切断面はタッチアップ材を塗布し、保護を行います。  
パネル取り付け後ナット締め忘れや付け忘れが無いことを確認を行います。

竹簾垣  
丸太支柱工

丸太支柱を規定の間隔にて垂直に打ち込みを行います。  
根入れ(t500)が十分確保できているか確認し、杭の天端は面取りを行います。

竹簾工

等間隔に割った割竹を隣同士が隙間の無いように棕櫚縄にて結束を行い、横地に固定を行います。  
支柱に針金等で固定を行います。

ハンドレール工  
測量・丁張

施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。  
また、品質管理者と協議の元仕上げ高等の承認の上施工を行う。

基礎ブロック工

碎石路盤を設け十分に転圧を行います。  
基礎ブロックを規定の位置に据付を行います。  
据付後基礎ブロックの埋め戻しの際に、基礎ブロックが動かないよう注意し埋め戻しを行い、十分に転圧を行います。

柱建込

柱を基礎ブロックに規定の根入れを入れ垂直に建込を行います。  
建込を行ったのちに無収縮モルタル1:3にて固定を行い、モルタルが固まるまで、十分養生を行います。  
基礎ブロックが地表に出る場合は柱の根元に水が溜まらないように外部に向けモルタルにて水勾配を設ける。  
擁壁・階段部に建込の場合も同様に建込を行います。

手すり設置工

柱に規定の位置にて取り付けを行います。  
取り付け後にぐらつきが無いか確認を行い、ビスの締め忘れや緩みが無いか確認を行います。



その他工

デッキ工/ベンチデッキ工 ベンチ基礎は工作工基礎工に準ずる

測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。 また、品質管理者と協議の元仕上げ高等の承認の上施工を行う。
支持脚設置	計画の割付において支持脚の取付を行う。 仕上げ高を確認の上高さ調整を行う。
大引設置	支持脚に大引をビス止めにて固定を行う。
根太設置	大引の固定を確認したのち、既定の割付にて大引に根太をビス止めにて固定を行う。
デッキ工	承認された割付の元施工をおこないます。

パーゴラ工	
測量・丁張	施工前に測量を行い、計画高さ・位置に合わせて丁張を設置する。 また、品質管理者と協議の元仕上げ高等の承認の上施工を行う。
基礎工	工作物工の擁壁/基礎工に準ずる。 アンカーを規定の位置に接地し、アンカーが動かないようにコンクリートを打設する。
柱建込工	規程の位置のアンカーに合わせ柱を建込みボルトにて固定を行う。 ボルトの付け忘れや、緩みが無いこと確認し、 フープ筋を設置し、根巻コンクリートの打設を行います。
屋根部取り付け	根巻コンクリートが十分に硬化した事を確認した後に、屋根部の取り付けを行う。 ボルトの取り付けや締め忘れが無いことを確認し、設置を行います。

## 11. 施工管理計画

### 11-1. 工程管理

- (1) 実施工程表を基に総合的に管理し、月間・週間工程を作成し遅延のないよう管理する。
- (2) 工程管理限界を外れた場合は、施工の再検討、工程の組替え、施工班の増員を図り工程の正常化に努める。

### 11-2. 品質管理

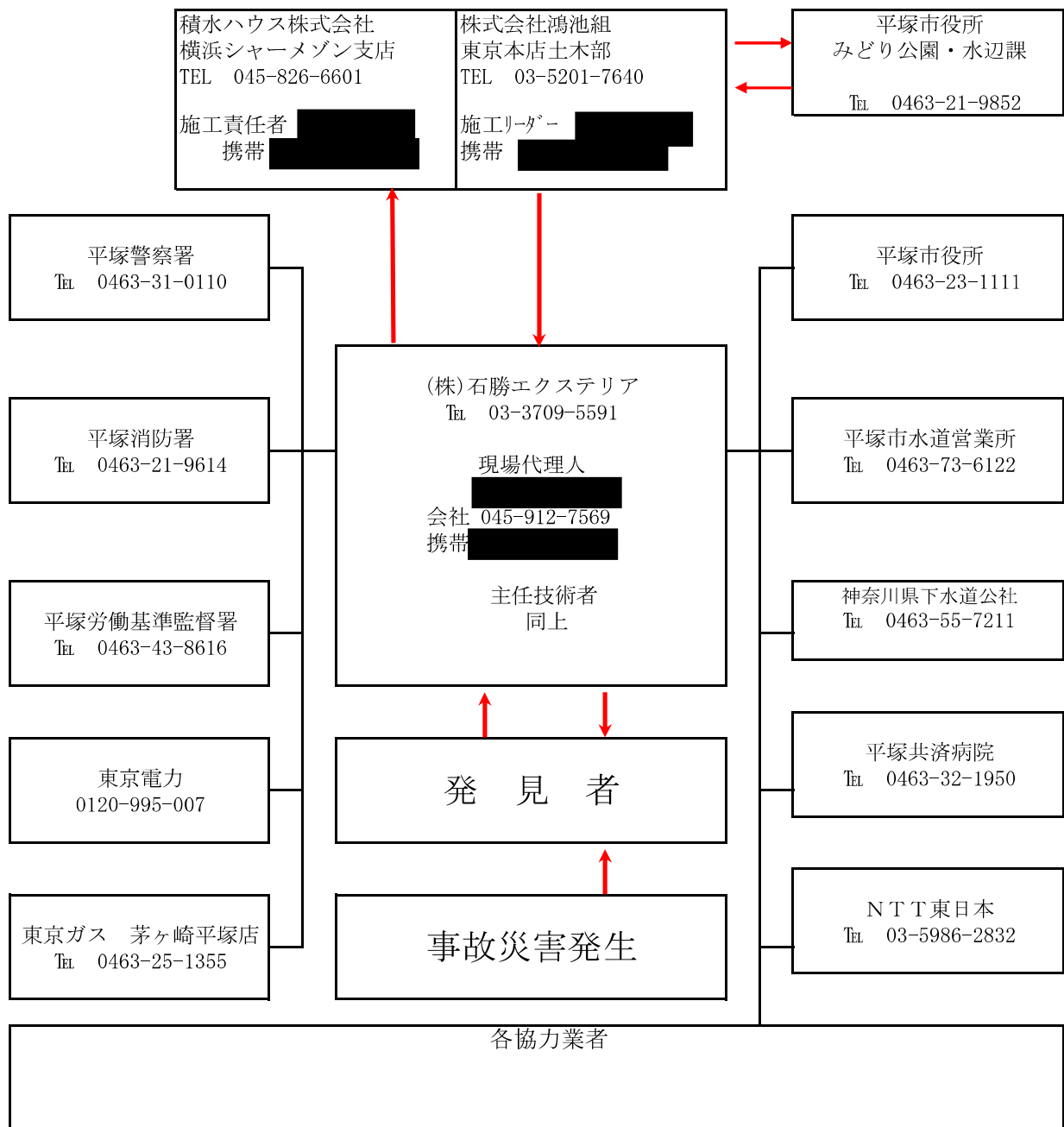
- (1) 工事材料は仕様書に基づいたものを使用する。
- (2) 工事材料は事前に施工責任者の承諾を得たものを使用する。
- (3) 工事材料が使用までに材質の変質が無いよう留意して保管する。

### 11-3. 出来形管理

- (1) 出来形を測定項目及び測定基準(基準値を設定し承認を得る)により実測し、設計・実測と対比して記録した出来形成果表又は出来形図を作成し管理する。
- (2) 管理計画

別紙出来形管理一覧表に基づき行う。

## 1.2. 緊急時の連絡体制



1. 災害発生の際は、直ちに、各関係企業に連絡する。
2. 現場においては応急処置を施し、万全の体制を整えて各関係企業の指示に従い、協力して災害を最小限に防ぐよう努力する。

### 1 3. 交通管理

- ・ 施工計画書共通項目に準じる。

## 1 4. 環境対策

### 1) 環境対策要旨

- ・ 施工計画書共通項目に準じる。

### 2) 環境対策事項

- ・ 施工計画書共通項目に準じる。